

令和6年度 在宅医療・介護連携に関する アンケート調査結果報告

【アンケートについて】

泉区における医療と介護の連携の状況を把握し、今後の在宅医療・介護連携推進事業の取組に活用します。

在宅医療・介護連携に関するアンケート調査 概要

明日をひらく都市

OPEN × PIONEER

YOKOHAMA

(1) アンケートの趣旨

泉区では、医療と介護の両方を必要とする高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、多職種連携による在宅医療体制の整備を進めています。区内の関係機関における医療と介護の連携の状況及び連携における課題等を把握するため、アンケートを実施しました。

(2) 調査方法

泉区医師会・泉区歯科医師会・泉区薬剤師会及び区内介護事業所等に研修案内と合わせて、アンケート用紙を送付。

横浜市電子申請・届出システムで回答または、FAXによるアンケート用紙にて回答。（※回答は個人。）

(3) 回答期間 令和6年7月10日～9月20日

(4) 対象者

区内医療・介護関係機関職員

(5) 回答結果

送付団体数	回答者数
136事業所および泉区医師会・泉区歯科医師会・泉区薬剤師会等 関係機関へ配布	95人回収

(6) アンケート内容

関係機関における医療と介護の連携状況に関すること

あなたが主に従事している職種をお答えください。

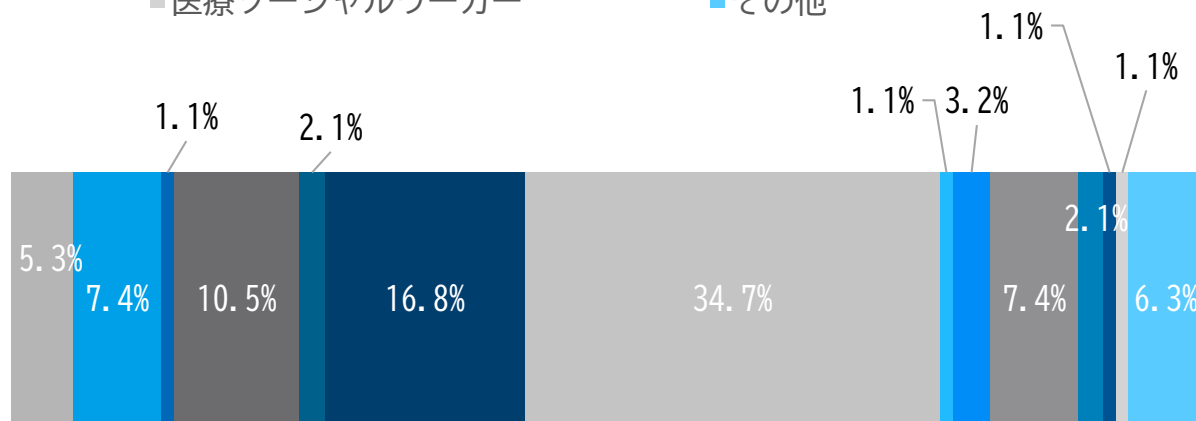
明日をひらく都市
OPEN × PIONEER
YOKOHAMA

単位：割合（％）

	合計	割合 (%)
医師	5	5.3%
歯科医師	7	7.4%
保健師	1	1.1%
訪問看護師	10	10.5%
施設看護師（病院含む）	2	2.1%
薬剤師	16	16.8%
ケアマネジャー（介護系）	33	34.7%
ケアマネジャー（医療系）	1	1.1%
社会福祉士	3	3.2%
介護福祉士	7	7.4%
理学療法士	2	2.1%
作業療法士	1	1.1%
医療ソーシャルワーカー	1	1.1%
その他	6	6.3%
総計	95	100.0%

- 医師
- 保健師
- 施設看護師（病院含む）
- ケアマネジャー（介護系）
- 社会福祉士
- 理学療法士
- 医療ソーシャルワーカー

- 歯科医師
- 訪問看護師
- 薬剤師
- ケアマネジャー（医療系）
- 介護福祉士
- 作業療法士
- その他

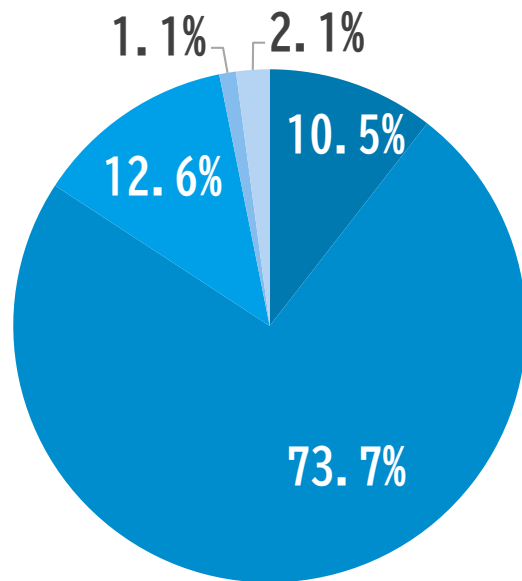


※構成比は端数処理のため、総計値は100とならない。

1 医療機関や他の介護保険事業所との連携は図れていますか。 (同職種のもの除く)

明日をひらく都市
OPEN X PIONEER
YOKOHAMA

	合計	割合 (%)
十分に図れている	10	10.5%
概ね図れている	70	73.7%
あまり図れていない	12	12.6%
図れていない	1	1.1%
無回答	2	2.1%
総計	95	100.0%



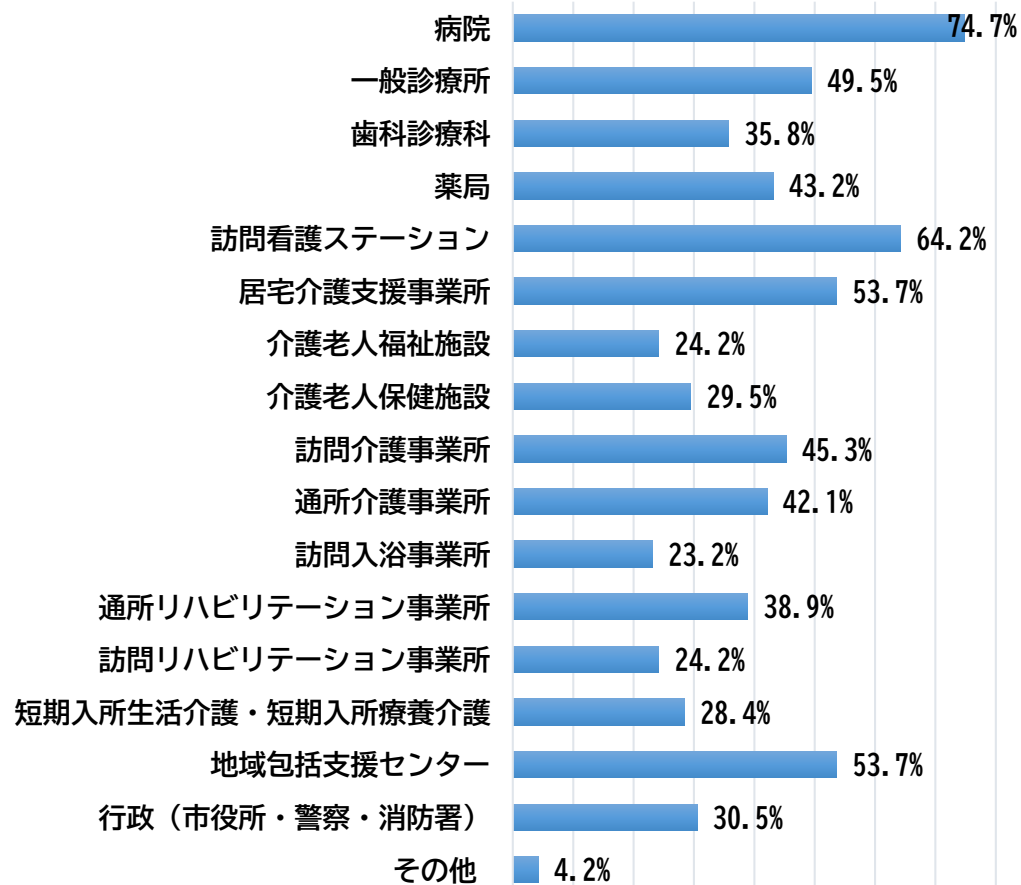
単位：割合 (%)

- 十分に図れている
- 概ね図れている
- あまり図れていない
- 図れていない
- 無回答

2 どのような医療機関や事業所と連携を図っていますか。（複数回答可）

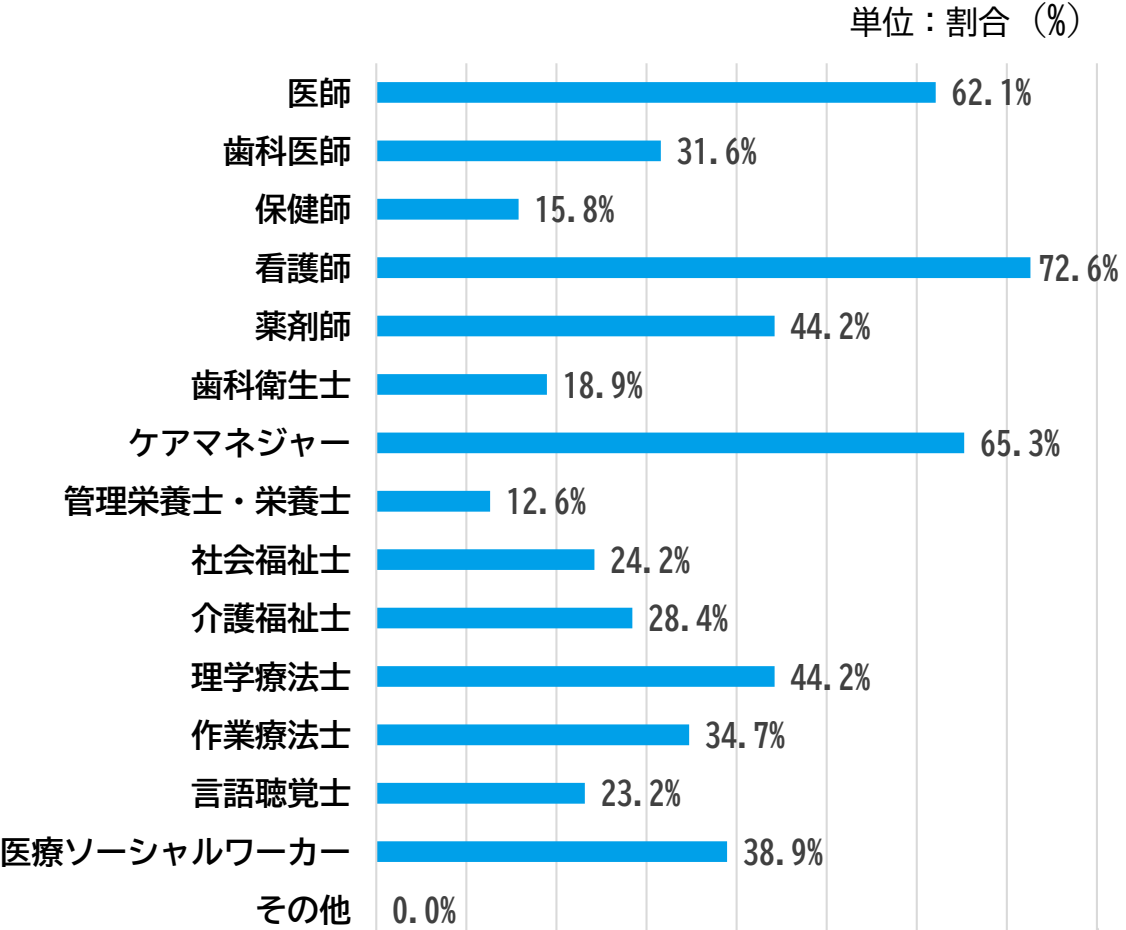
単位：割合（％）

	合計	割合（％）
病院	71	74.7%
一般診療所	47	49.5%
歯科診療科	34	35.8%
薬局	41	43.2%
訪問看護ステーション	61	64.2%
居宅介護支援事業所	51	53.7%
介護老人福祉施設	23	24.2%
介護老人保健施設	28	29.5%
訪問介護事業所	43	45.3%
通所介護事業所	40	42.1%
訪問入浴事業所	22	23.2%
通所リハビリテーション事業所	37	38.9%
訪問リハビリテーション事業所	23	24.2%
短期入所生活介護・短期入所療養介護	27	28.4%
地域包括支援センター	51	53.7%
行政（市役所・警察・消防署）	29	30.5%
その他	4	4.2%



3 どのような職種と連携を図っていますか。（複数回答可）

	合計	割合 (%)
医師	59	62.1%
歯科医師	30	31.6%
保健師	15	15.8%
看護師	69	72.6%
薬剤師	42	44.2%
歯科衛生士	18	18.9%
ケアマネジャー	62	65.3%
管理栄養士・栄養士	12	12.6%
社会福祉士	23	24.2%
介護福祉士	27	28.4%
理学療法士	42	44.2%
作業療法士	33	34.7%
言語聴覚士	22	23.2%
医療ソーシャルワーカー	37	38.9%
その他	0	0.0%

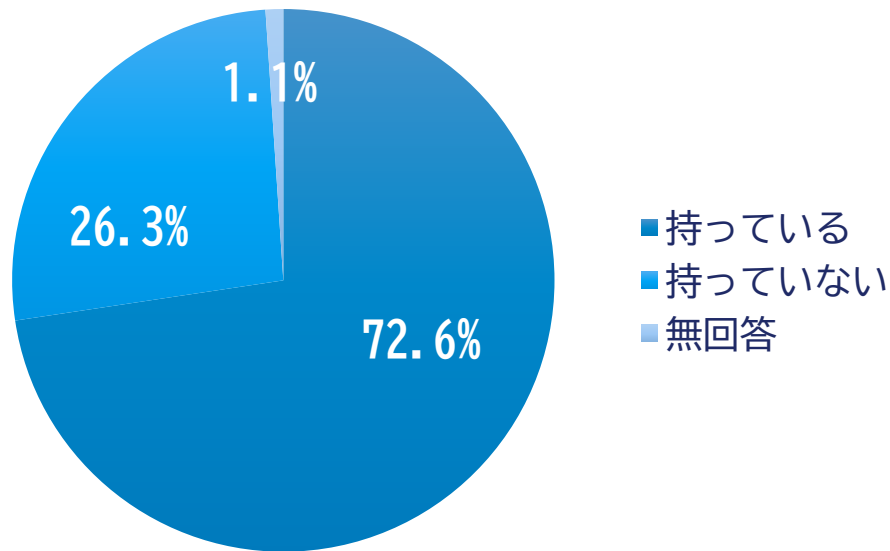


4 地域の中で相談できる多職種とのつながりは持っていますか。明日をひらく都市 OPEN X PIONEER YOKOHAMA

(同職種のみのものは除く)

単位：割合（％）

	合計	割合 (%)
持っている	69	72.6%
持っていない	25	26.3%
無回答	1	1.1%
総計	95	100.0%



5 退院支援について

5-(1) 病院から退院時の連絡がありますか

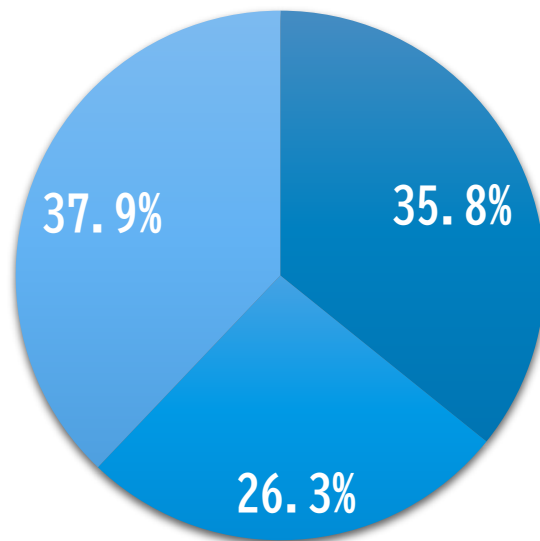
明日をひらく都市

OPEN X PIONEER

YOKOHAMA

単位：割合（％）

	合計	割合 (%)
ある	34	35.8%
ない	25	26.3%
病院によって違う	36	37.9%
不明・無回答	0	0.0%
総計	95	100.0%

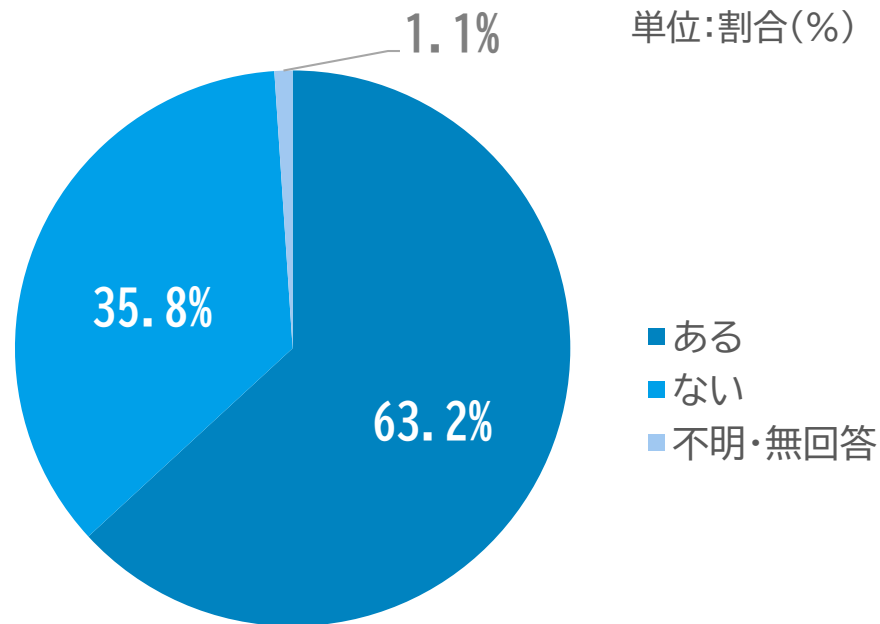


- ある
- ない
- 病院によって違う
- 不明・無回答

5 退院支援について

5-(2) 医療職種もしくは介護職種の言葉でわからないことがありますか

	合計	割合(%)
ある	60	63.2%
ない	34	35.8%
不明・無回答	1	1.1%
総計	95	100.0%



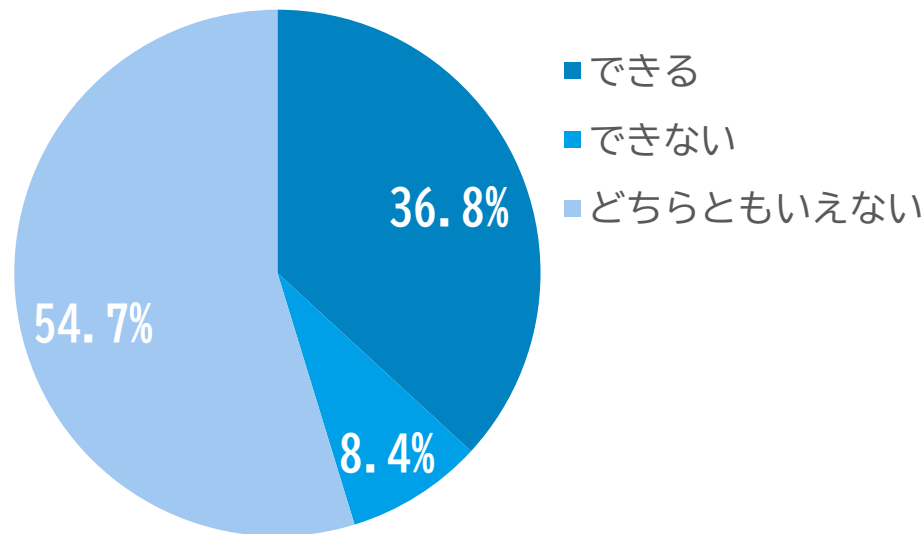
※構成比は端数処理のため、総計値は100とならない。

5 退院支援について

5-(3) 疾患、状態から必要な医療サービスが判断できますか

単位:割合(%)

	合計	割合 (%)
できる	35	36.8%
できない	8	8.4%
どちらともいえない	52	54.7%
総計	95	100.0%



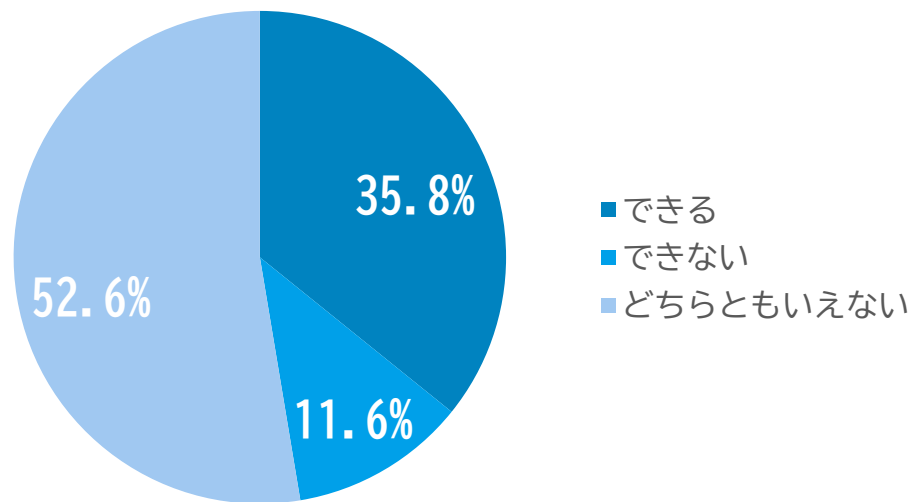
※構成比は端数処理のため、総計値は100とならない。

5 退院支援について

5-(4) 在宅療養利用者のニーズと、疾患から必要な医療サービスを調整（もしくは調整の助言）ができますか

単位:割合(%)

	合計	割合 (%)
できる	34	35.8%
できない	11	11.6%
どちらともいえない	50	52.6%
総計	95	100.0%

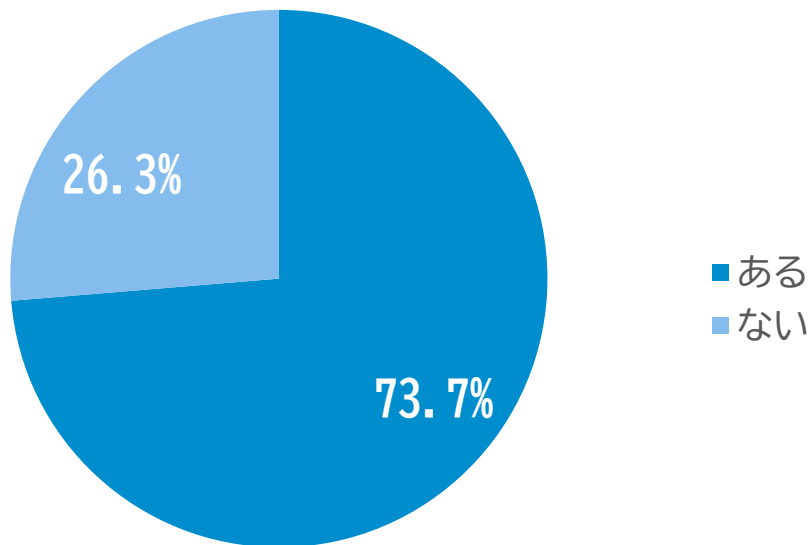


6 日常の療養支援について

6-(1) 在宅療養に医療サービスを導入 (もしくは導入の助言) したことがありますか

単位:割合(%)

	合計	割合 (%)
ある	70	73.7%
ない	25	26.3%
総計	95	100.0%

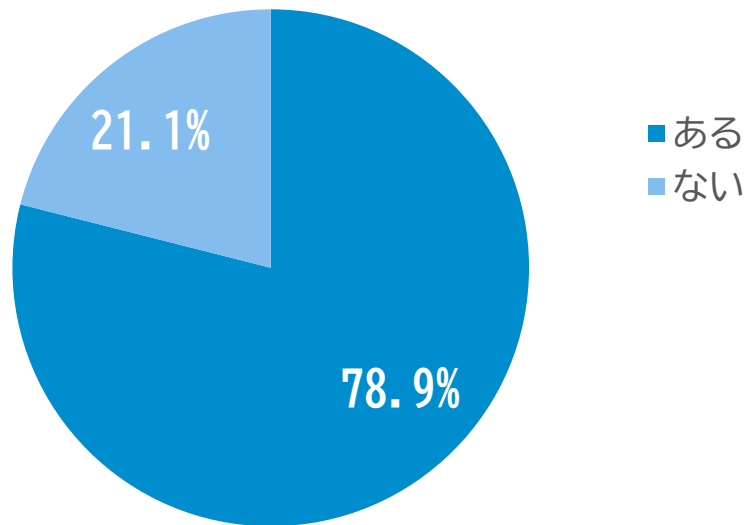


6 日常の療養支援について

6-(2) 利用者の疾患から、予防の視点で医療サービスを利用 (もしくは利用の助言) したことがありますか

単位:割合(%)

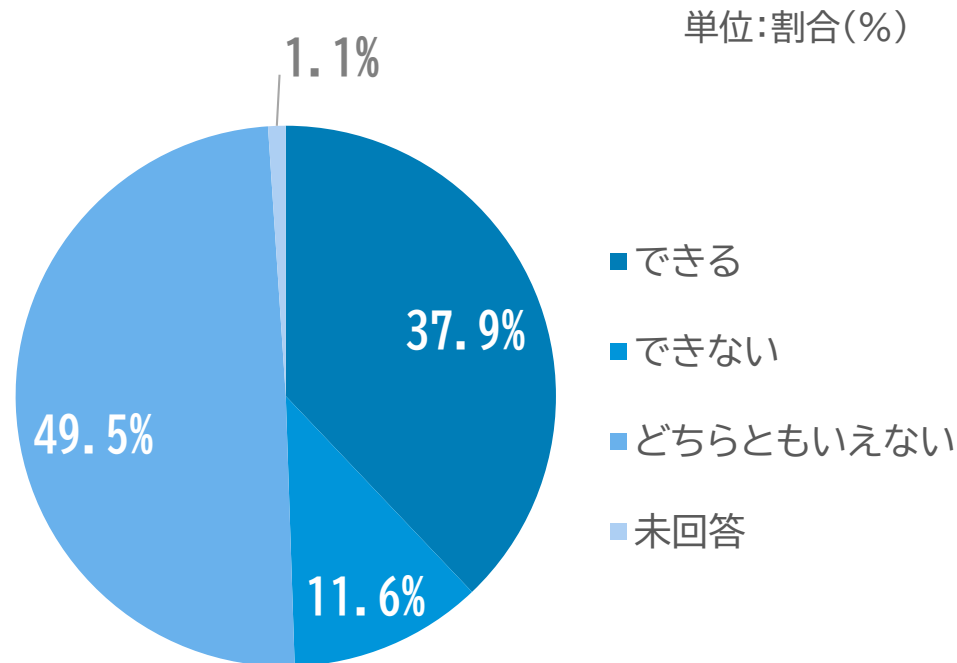
	合計	割合 (%)
ある	75	78.9%
ない	20	21.1%
総計	95	100.0%



6 日常の療養支援について

6-(3) 生活状況の変化がおこってきた時に、 医療の側面からアセスメントを行うことができますか

	合計	割合 (%)
できる	36	37.9%
できない	11	11.6%
どちらともいえない	47	49.5%
未回答	1	1.1%
総計	95	100.0%



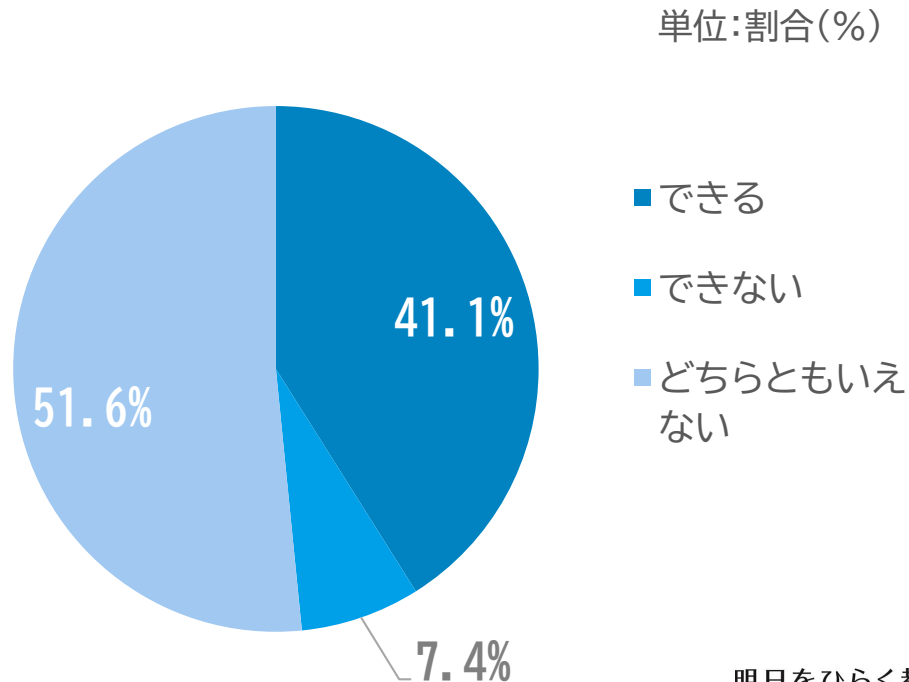
※構成比は端数処理のため、総計値は100とならない。

6 日常の療養支援について

6-(4) 障害サービス、公費サービス等、利用者及び家族の負担を軽減するための提案（もしくは提案の助言）を行うことができますか

	合計	割合 (%)
できる	39	41.1%
できない	7	7.4%
どちらともいえない	49	51.6%
総計	95	100.0%

※構成比は端数処理のため、総計値は100とならない。



7 看取りについて

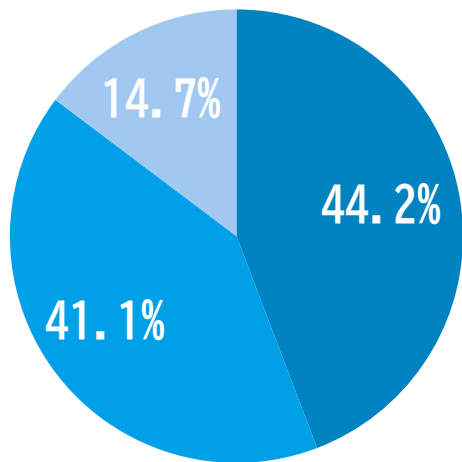
7-(1) ACP（アドバンス・ケア・プランニング）について

明日をひらく都市

OPEN × PIONEER

YOKOHAMA

単位:割合(%)



- 知っていて利用者に説明したことがある
- 知っているが利用者に説明したことはない
- ACPを知らない

	合計	割合 (%)
知っていて利用者に説明したことがある	42	44.2%
知っているが利用者に説明したことはない	39	41.1%
ACPを知らない	14	14.7%
総計	95	100.0%

7 看取りについて

7-2) 余命告知後の利用者及び家族に対し、病状受入れを支援できますか

単位:割合(%)

	合計	割合 (%)
できる	30	31.6%
できない	9	9.5%
どちらともいえない	56	58.9%
総計	95	100.0%

